

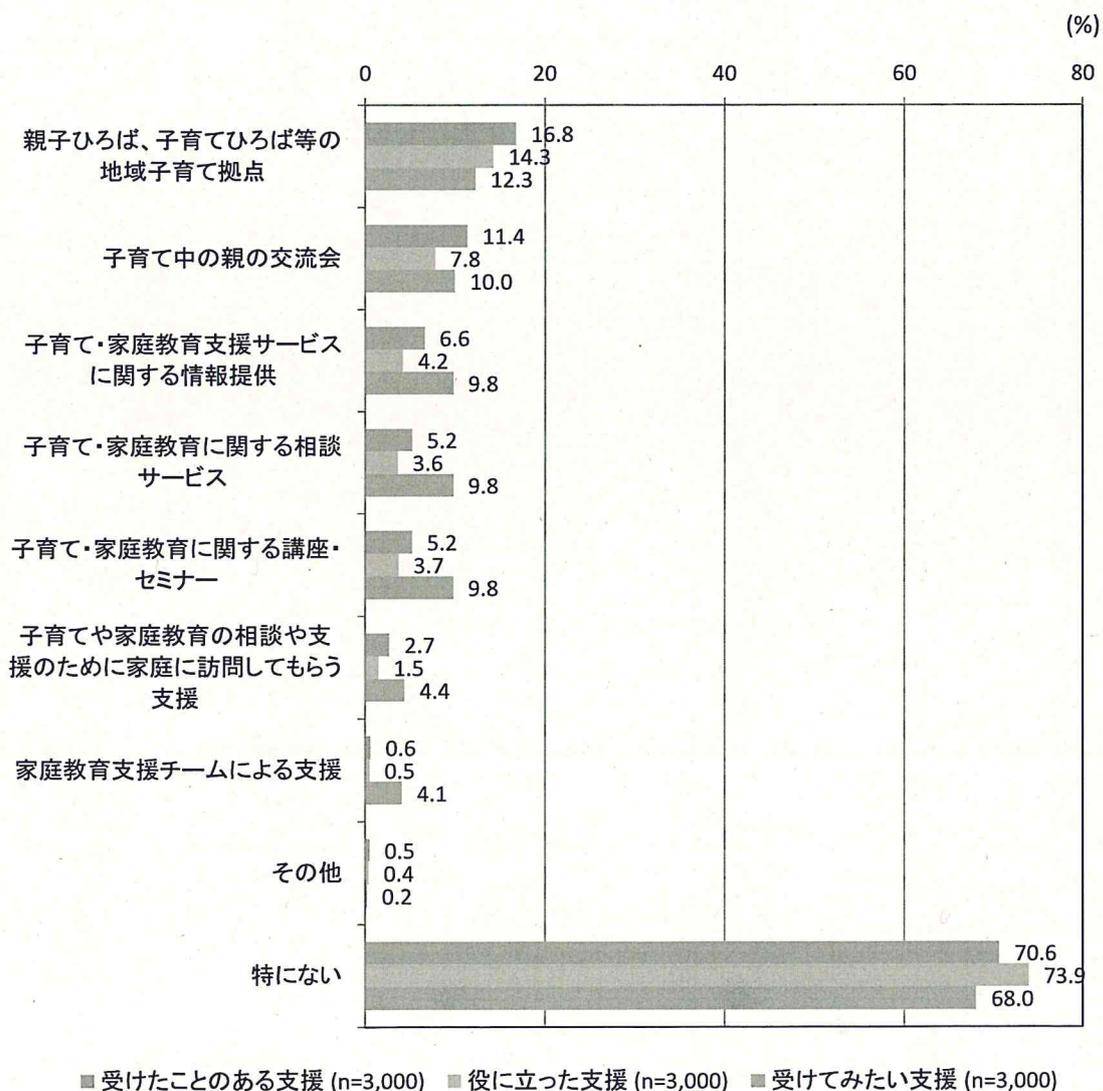
H28文部科学省委託調査
平成28年度「家庭教育の総合的推進に関する調査研究
～家庭教育支援の充実のための実態等把握調査研究～」
報告書抜粋

(5) 家庭教育の充実のために

① 受けたことのある家庭教育支援・役に立った家庭教育支援・受けてみたい家庭教育支援

- 家庭教育支援については、受けたことのある支援、役に立った支援、受けてみたい支援のどれについても、「特にない」が約7割で最も高い。次いで「親子ひろば、子育てひろば等の地域子育て拠点」、「子育て中の親の交流会」が若干ではあるが高くなっている。
- 性年代別にみると、女性20代と30代では「親子ひろば、子育てひろば等の地域子育て拠点」を3割以上（20代：33.0%、30代：33.8%）が利用したことがあり、3割近く（20代：27.0%、30代：29.7%）が役に立ったと回答している。また、受けたことがある支援が「特にない」のは女性60.6%、男性82.7%であり、20ポイント以上の開きがある。

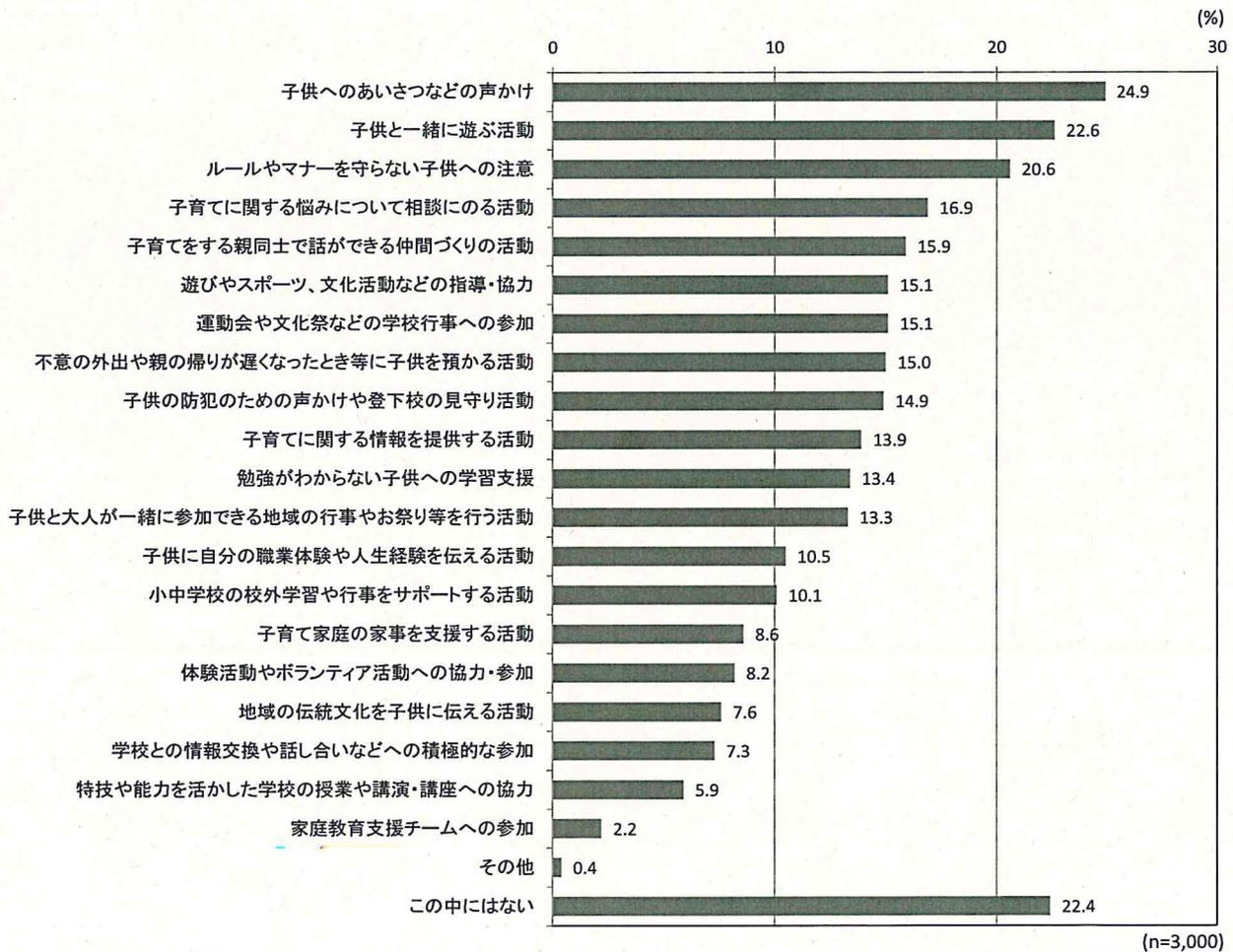
図表 78 あなたが子育てや家庭教育について受けたことのある支援や、役に立った支援をお答えください。(複数回答) / あなたが受けてみたいと思う子育てや家庭教育の支援をお答えください。(複数回答)



②取り組んでみたい家庭教育支援の内容

- 取り組んでみたい家庭教育支援では、「子供へのあいさつなどの声かけ」が24.9%で最も高く、次いで「子供と一緒に遊ぶ活動」が22.6%、「この中にはない」が22.4%である。
- 性別にみると、「子供と一緒に遊ぶ活動」と「遊びやスポーツ、文化活動などの指導・協力」、「この中にはない」を除いた全ての項目で女性の方が高くなっており、女性の方が家庭教育支援に取り組むことに前向きである傾向にある。
- 末子年齢別にみると、子供の年齢が上がるにつれ、「この中にはない」が高くなる傾向にある。

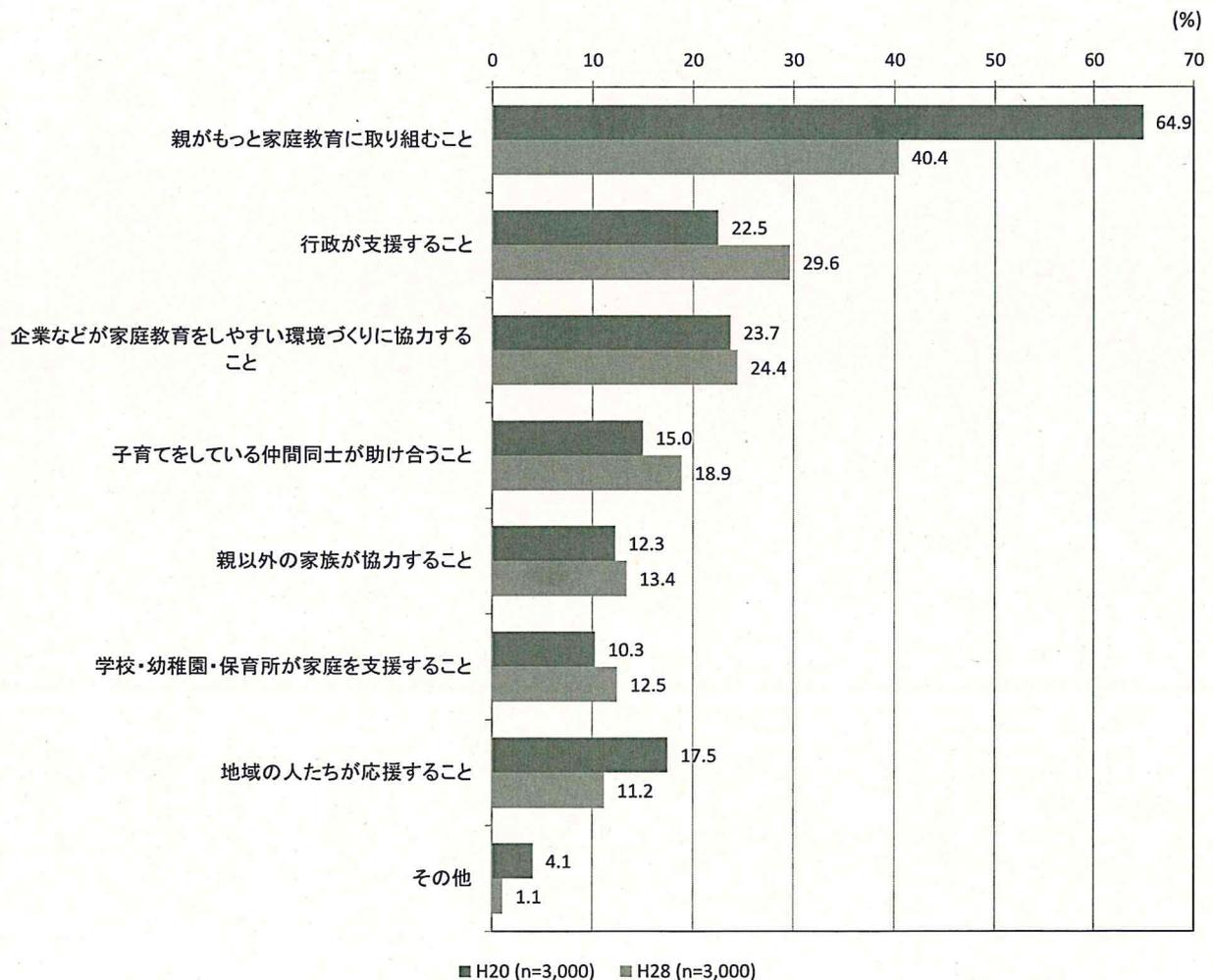
図表 82 子育て中の親や家庭を支援するために、あなたはどんな活動や取組をしてみたいと思いますか。その内容をお答えください。(複数回答)



③家庭教育の充実のために必要なこと

- 家庭教育の充実のために必要なことは「親がもっと家庭教育に取り組むこと」が40.4%で最も高く、次いで「行政が支援すること」が29.6%、「企業などが家庭教育をしやすい環境づくりに協力すること」が24.4%である。
- 平成20年度調査と比べると、「親がもっと家庭教育に取り組むこと」が24.5ポイントも低くなっている。一方で「行政が支援すること」や「子育てをしている仲間同士が助け合うこと」がやや高くなっており、家庭教育の充実のためには、親が主体となるだけではなく、社会全体で支援し、協力していくことが必要だという認識が広まったことが伺える。

図表 84 あなたは、家庭教育の充実のために、主にどのようなことが必要だと思いますか。(回答は2つまで)

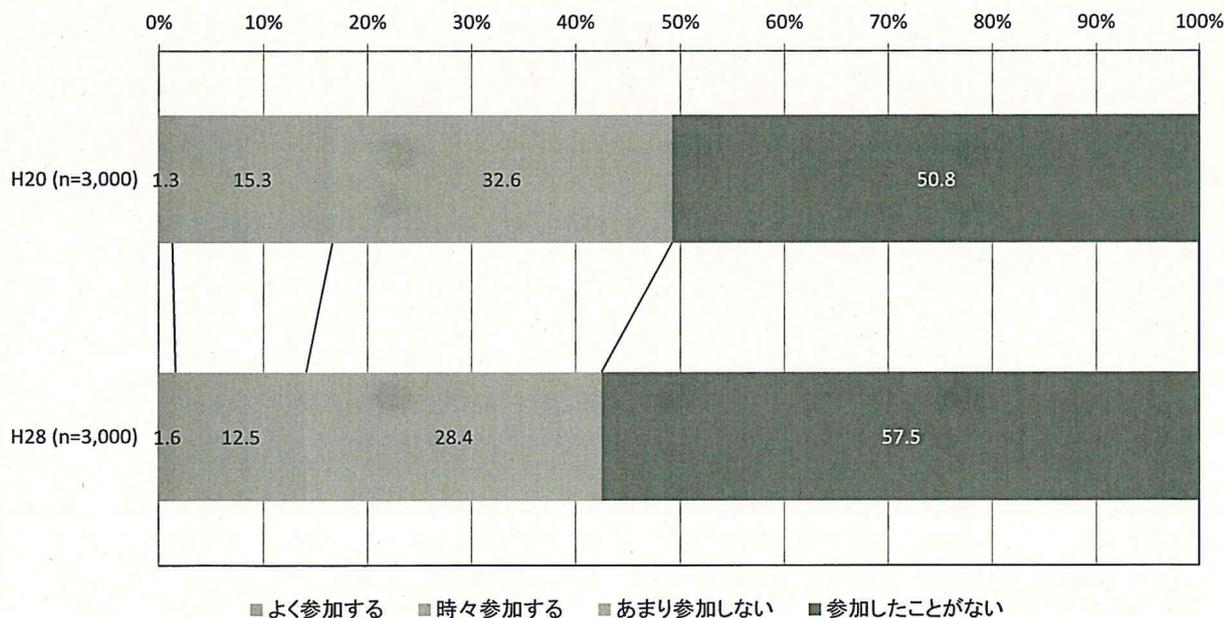


(6) 家庭教育に関する情報面での支援

①家庭教育に関する講座・研修会などへの参加状況

- 家庭教育に関する講座・研修会などへの参加状況は、「参加したことがない」が57.5%で最も高く、次いで「あまり参加しない」が28.4%であり、「時々参加する」は12.5%、「よく参加する」は1.6%である。
- 性別にみると、「よく参加する」と「時々参加する」の合計が男性11.7%、女性16.2%であり、女性が4.5ポイント高くなっている。男性を年代別にみると、男性20代では、「よく参加する」と「時々参加する」の合計が19.1%であり、30代~50代前半の男性に比べて高くなっている。
- 配偶者の有無別、同居家族構成別にみると、「参加したことがない」が配偶者なしの世帯では、68.5%、単親世帯では66.7%と高くなっている。
- 労働時間別にみると、労働時間が長くなるにつれ、「参加したことがない」が高くなる傾向にあり、60時間以上では、66.7%である。

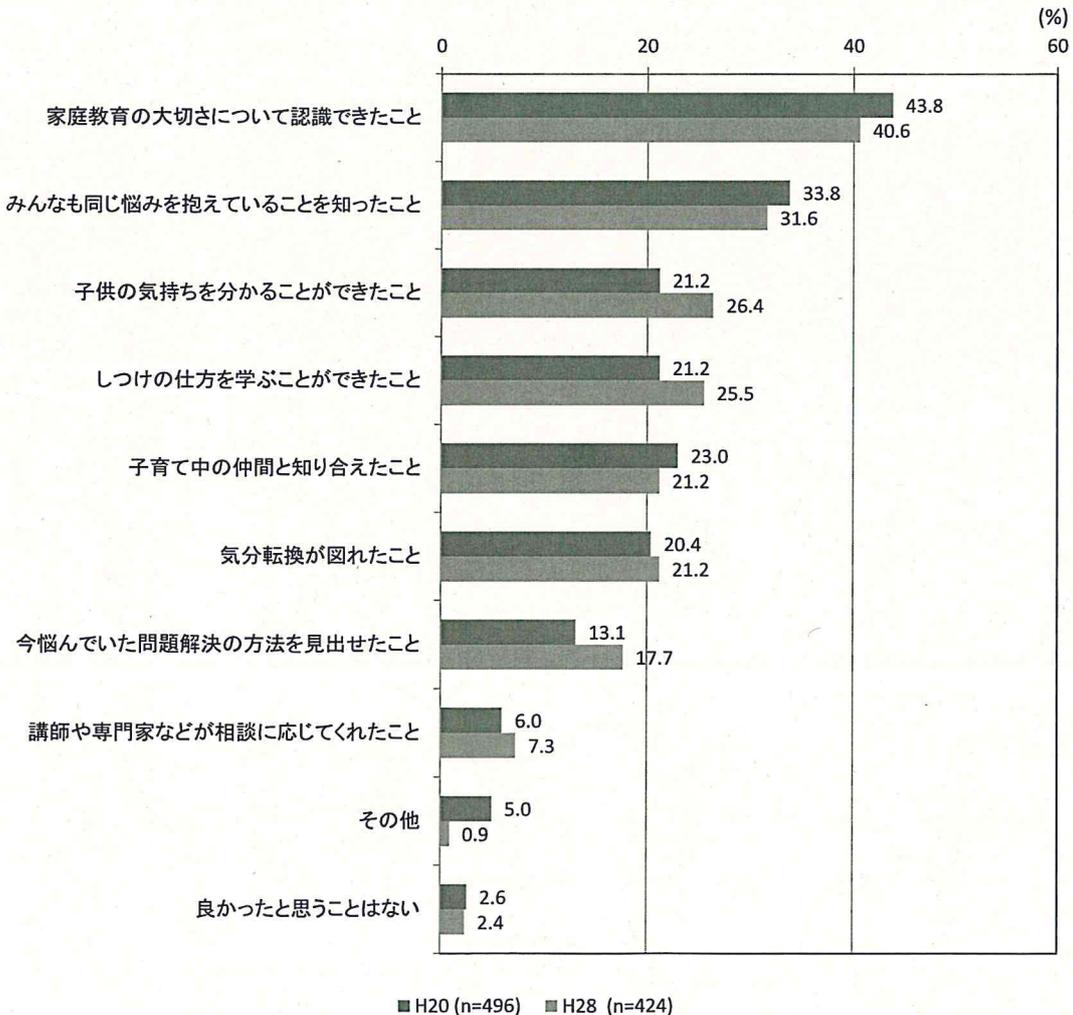
図表 96 あなたは、家庭教育に関する講座や研修会などに参加していますか。



②家庭教育に関する講座や研修会などに参加して、良かったこと

- 家庭教育に関する講座・研修会などに参加して、良かったことは、「家庭教育の大切さについて認識できたこと」が40.6%で最も高く、次いで「みんなも同じ悩みを抱えていることを知ったこと」が31.6%、「子供の気持ちを分かることができたこと」が26.4%である。
- 性別にみると、男女ともに、「家庭教育の大切さについて認識できたこと」が約4割で最も高い。男性では、「しつけの仕方を学ぶことができたこと」が39.4%で2番目に高く、女性では、「みんなも同じ悩みを抱えていることを知ったこと」が38.3%で2番目に高い。
- 平成20年度調査と比較すると、「子供の気持ちを分かることができたこと」、「しつけの仕方を学ぶことができたこと」、「今悩んでいた問題解決の方法を見出せたこと」がそれぞれ4ポイント以上高くなっている。

図表 98 あなたは、家庭教育に関する講座や研修会などに参加して、主にどのようなことが良かったですか。良かったと思う順番に2つまでお答えください。(複数回答として集計)

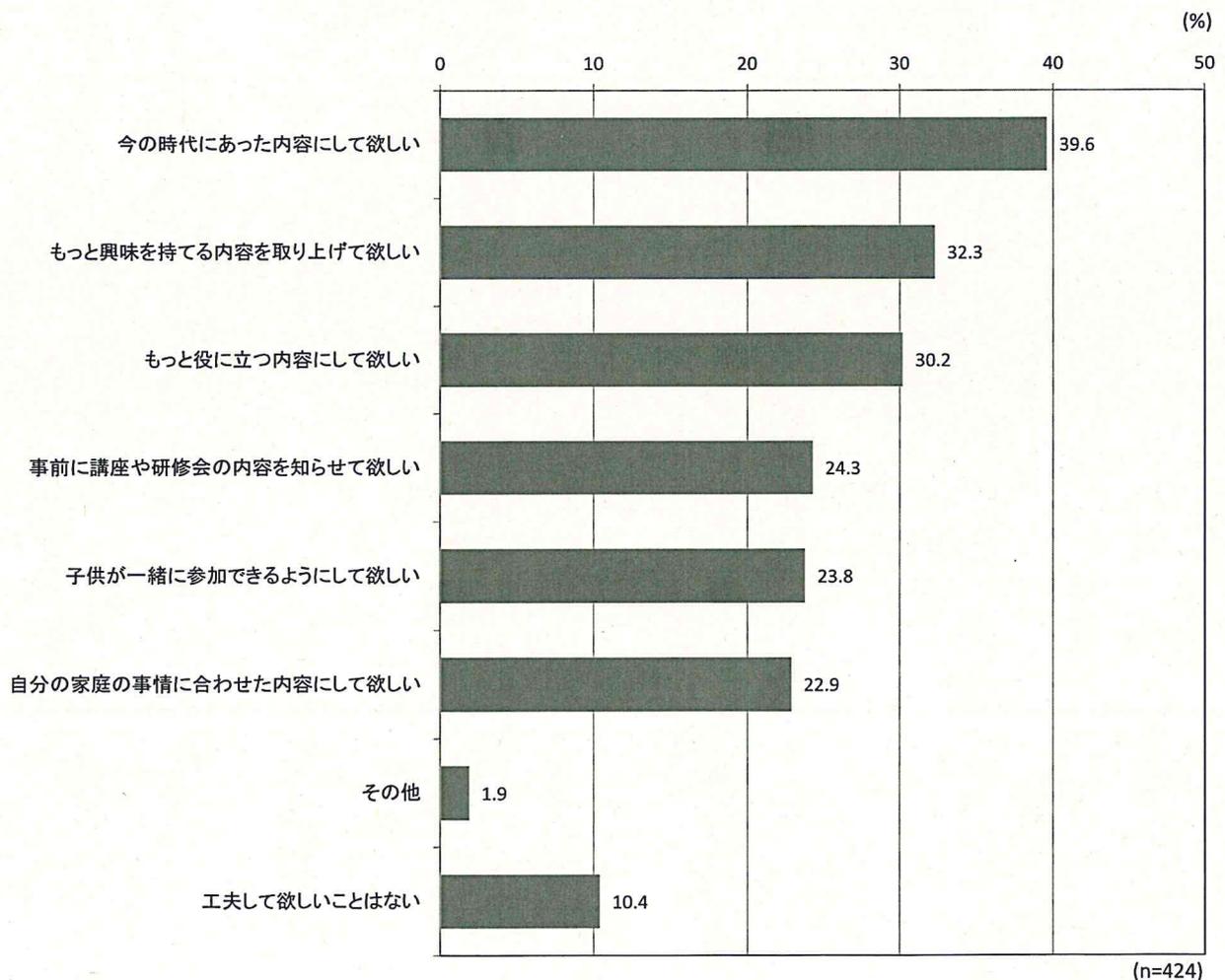


※1～2番目の回答を複数回答として集計したため、各選択肢の割合を合計しても100とはならない。

③家庭教育に関する講座や研修会などに参加して、工夫して欲しいと思ったこと

- 家庭教育に関する講座・研修会などに参加して、工夫して欲しいと思ったことは、「今の時代にあった内容にして欲しい」が 39.6%で最も高く、次いでもっと興味を持てる内容を取り上げて欲しい」が 32.3%である。
- 性別にみると、男性では「もっと役に立つ内容にしてほしい」が 37.5%であり、女性よりも 11.7ポイント高くなっている。

図表 100 あなたは、家庭教育に関する講座や研修会などに参加して、工夫して欲しいと思ったことはありますか。工夫して欲しいと思う順番に2つまでお答えください。(複数回答として集計)

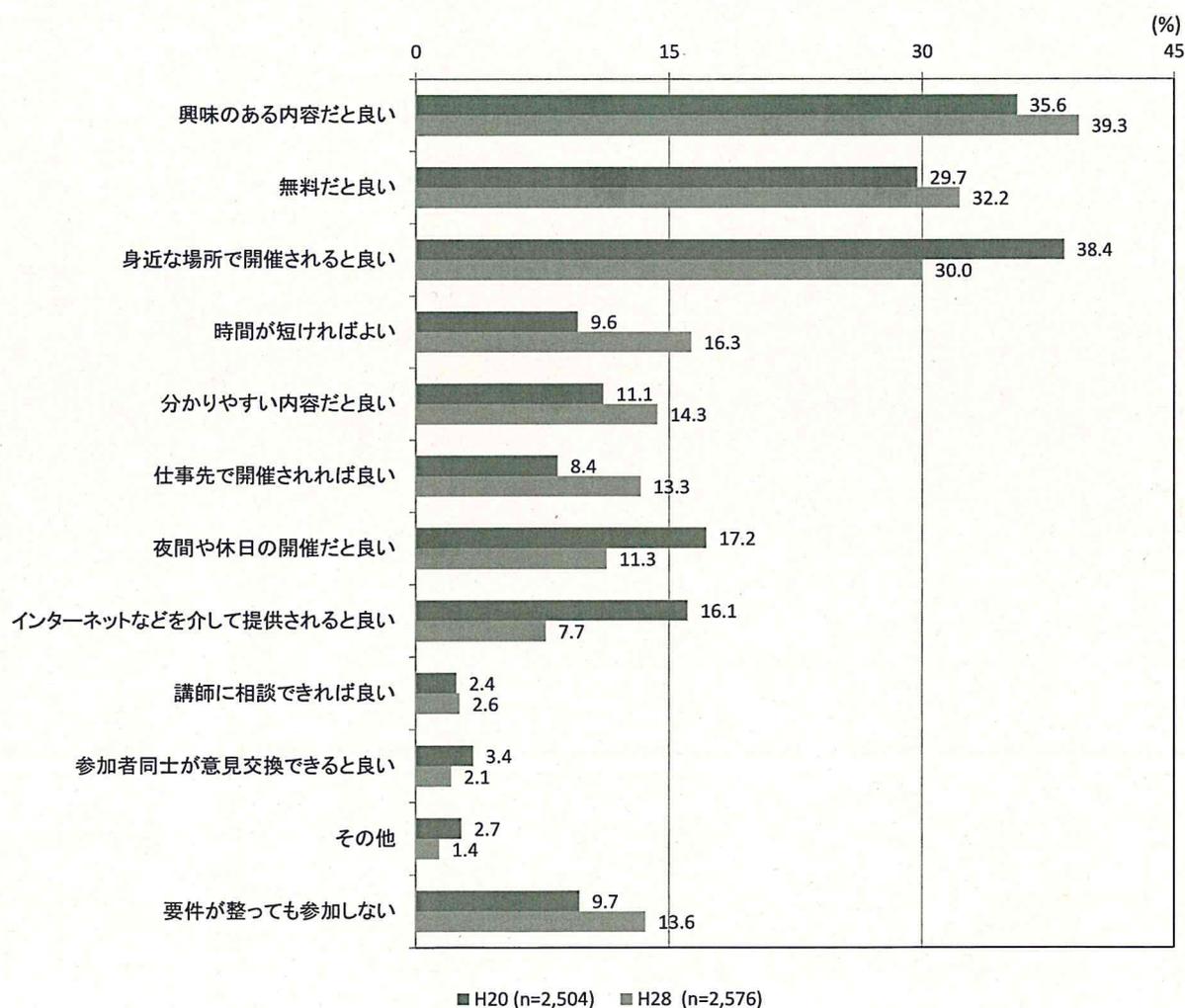


※1～2番目の回答を複数回答として集計したため、各選択肢の割合を合計しても100とはならない。

④家庭教育に関する講座や研修会などに参加しやすくするための要件

- 家庭教育に関する講座・研修会などに参加しやすくするための要件は、「興味のある内容だと良い」が39.3%で最も高く、次いで「無料だと良い」が32.2%、「身近な場所で開催されると良い」が30.0%である。
- 性別にみると、女性は、「無料だと良い」、「身近な場所で開催されると良い」が男性よりも高く、男性は、「仕事先で開催されれば良い」、「夜間や休日の開催だと良い」が女性よりも高い。
- 平成20年度調査と比較すると、「身近な場所で開催されると良い」、「インターネットなどを介して提供されると良い」がそれぞれ8ポイント以上低くなっている。

図表 102 あなたは、家庭教育に関する講座や研修会などに参加しやすくするために、どのようなことが重要だと思いますか。重要だと思う順番に2つまでお答えください。(複数回答として集計)

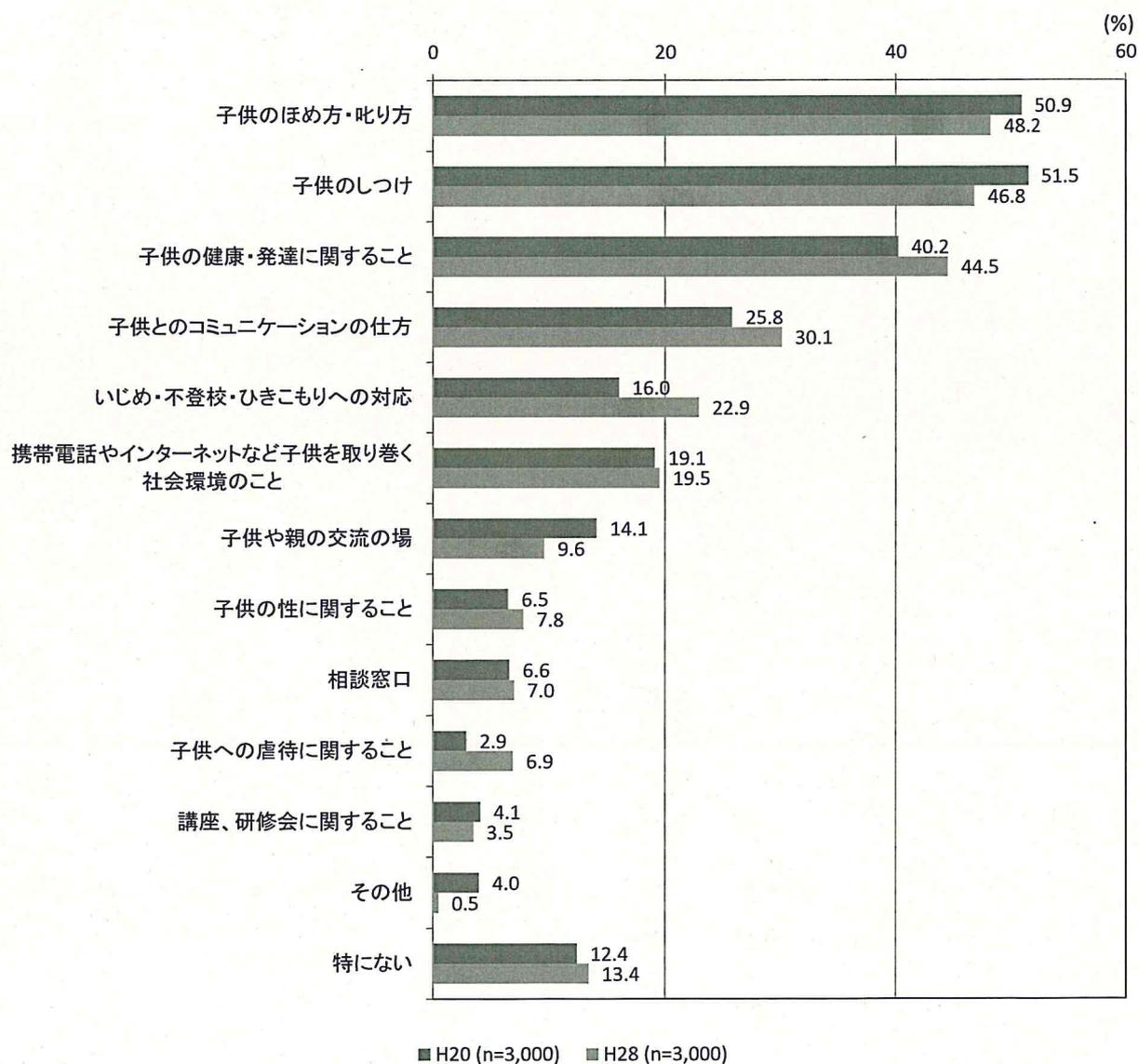


※1～2番目の回答を複数回答として集計したため、各選択肢の割合を合計しても100とはならない。

⑤家庭教育について知りたい情報

- 家庭教育について知りたい情報は、「子供のほめ方・叱り方」が48.2%で最も高く、次いで「子供のしつけ」が46.8%、「子供の健康・発達に関すること」が44.5%である。
- 性別にみると、男女ともに、上位3項目の組み合わせは同じである。
- 平成20年度調査と比較すると、「子供の健康・発達に関すること」、「子供とのコミュニケーションの仕方」、「いじめ・不登校・ひきこもりへの対応」が4ポイント以上高く、「子供のしつけ」が4.7ポイント低くなっている。

図表 104 あなたは、家庭教育について、主にどのような情報を知りたいですか。知りたい順番に3つまでお答えください。(複数回答として集計)



※1～3番目の回答を複数回答として集計したため、各選択肢の割合を合計しても100とはならない。